



バケツに入った泥をかき混ぜた後、苗を植える親子（八戸学院第二しのめ幼稚園提供）

山一星さんが講師を務めた。園児たちはバケツに黒土と水を入れ、親子で協力しながら手で泥をかき混ぜた後、「まっしぐら」の苗を植えた。

バケツ稲は夏まで幼稚園で育て、夏休み中は各家庭に持ち帰って親子で世話をする。秋には収穫したコメでおにぎりを

バケツ稲収穫楽しみ

幼稚園児ら
苗植え作業

八戸

作り、みんなで味わう予定という。

加藤園長は「コメがどのように作られるのか知り、親子で稲の成長を観察したり育てる体験をしたりすることで、食べ物に感謝の気持ちを持ってほしい」と話した。

（千葉真由美）

八戸市の八戸学院第二しのめ幼稚園（加藤康子園長）は、バケツでコメを育てる「バケツ稲」づくりに取り組んでいる。23日は年長・年中の園児11人と保護者がバケツに苗を植える作業に取り組み、出来秋を楽しみにしていた。

同園が食育の一環で一昨年に初めて取り組み、今回が2回目。八戸農協営農経済部指導課の村